

平成 24 年度 村田幸隆アドバイザー講演 「住宅部品設備の今後の評価」

サステナブル居住研究センターのアドバイザー（住宅保証機構株式会社監査役、東京ガスリビング企画部顧問）である村田幸隆が、今後の BL に期待することとして「住宅部品設備の今後の評価」について講演を致しました。

その要旨；「給湯設備機器や暖冷房設備機器の開発普及経過を例として住宅部品設備の適切な評価と課題について言及。給湯設備や暖冷房設備機器が普及するにつれて、住宅部品設備の適切な評価が行われ（BL の役割）、それが住生活の向上に貢献してきた。そして、2000年代に至り地球環境問題が大きくその評価を変えようとしている。更に、現代の住生活に見られる様々な課題克服のために、従来の評価手法を見直し、幅広い周知や対応できる人材育成等多様な検討をする必要があることを説明した。」